



平成 27 年 3 月 26 日

各 位

会 社 名 内外トランスライン株式会社
代表者名 代表取締役社長 常 多 晃
(コード番号：9384 東証一部)
問 合 せ 先 取 締 役 三 根 英 樹
経 営 企 画 部 長
(TEL 06-6260-4800)

韓国における物流倉庫の建設と合弁子会社の設立に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 12 月 29 日付「韓国釜山新港背後物流団地における優先交渉権の獲得に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、釜山港湾公社が募集した釜山新港背後物流団地の公募に参加し、優先交渉権を獲得しておりましたが、本日（平成 27 年 3 月 26 日）開催されました取締役会において、下記のとおり当該物流団地における物流倉庫の建設を決定し、併せて、事業推進のため、韓国企業との合弁会社を設立することを決議いたしましたので以下のとおりお知らせいたします。

記

1. 合弁会社設立等の経緯と目的

当社グループは、平成 26 年 1 月より平成 28 年 12 月に至る中期経営計画を策定しており、当社の主力事業である混載貨物輸送事業に加え、航空貨物輸送、国際複合一貫輸送、通関事業、倉庫事業等の事業領域を拡大し、国際総合フレイトフォワードラーとしての地位と業績を確立する計画を遂行中であります。

このたびの釜山新港における物流倉庫の建設は、当社グループが現在、シンガポール現地法人及びインド現地法人等で手がけている倉庫ビジネスをさらに発展させ、将来的に貨物輸送事業と並ぶ新たな柱へと育てていくことを目的としております。

このため、当社は、韓国で堅実に国際貨物輸送事業を展開する現地企業銀山海運航空株式会社をパートナーとして合弁投資契約を締結し、合弁会社を設立して当該事業を推進してまいることとなりました。

2. 建設する倉庫の概要

(1) 所在地	大韓民国慶尚南道昌原市熊東（ウンドン）地区
(2) 土地面積	約 10,000 坪（賃借）
(3) 倉庫面積	約 5,000 坪（予定）
(4) 土地賃借期間	30 年（延長可能）
(5) 立地その他	・当該熊東物流団地は、世界有数のコンテナ扱い量を誇る貿易港釜山新港の背後に位置しており、今後も東アジアでの物流サービスの拠点として発展が期待されております。 ・自由貿易地域（FTZ）指定区域のため、法人税、関税、付加価値税等の税制優遇措置があります。

3. 設立する合弁会社の概要

(1) 商号	内外銀山ロジスティクス株式会社 (英語名: NAIGAI-EUNSAN LOGISTICS CO., LTD.)
(2) 所在地	大韓民国慶尚南道昌原市
(3) 代表者	未定
(4) 事業内容	倉庫事業(日韓物流貨物の保管、船積、物流加工等) 貨物運送業、複合運送幹旋業、通関代行業ほか
(5) 資本金	80億ウォン
(6) 設立年月	2015年4月(予定)
(7) 資本構成	内外トランスライン株式会社(当社) 70% 銀山海運航空株式会社 30%
(8) 当社との関係 ① 資本関係 ② 人的関係 ③ 取引関係	当社が上記割合で出資いたします。 当社より役員を派遣いたします。 当社現地法人として倉庫業関連等の取引を当社グループと行います。
(9) その他	合弁会社の詳細につきましては確定次第お知らせいたします。

4. 合弁相手先の概要

(1) 会社名	銀山海運航空株式会社
(2) 所在地	大韓民国釜山広域市
(3) 代表者	梁 在生
(4) 事業内容	複合運送幹旋業
(5) 資本金	1,000百万ウォン
(6) 設立年月	1993年11月
(7) 売上高	263,500百万ウォン
(8) 大株主及び持株比率	梁 在生 75%
(9) 当社との関係 ① 資本関係 ② 人的関係 ③ 取引関係	当社との間に資本関係はありません。 当社との間に人的関係はありません。 当社韓国代理店

5. 今後の予定

合弁契約書締結	2015年4月
会社設立	2015年4月
入居許可	2015年5月
(釜山地方海洋港湾庁)	
実施協約締結	2015年6月
(釜山港湾公社)	
倉庫建設開始	2015年10月
事業開始	2016年9月

6. 今後の見通し

本件が当期の連結業績に与える影響は軽微です。また、来期以降において、業績への影響が重要なものとなる場合には、判明しだい速やかにお知らせいたします。

以上